

# 静宏産業

億円を目指す。  
静宏産業は樹脂成形学レンズの開発にめどによる超精密歯車、トナー容器などが主力。並行して、樹脂成形技術を生かした新規事業開拓に取り組んでおり、今回LED(発光ダイオード)用樹脂製光

新工場は旧大諏訪工場の跡地(沼津市)に建設する。建築面積約900平方メートル。クリ



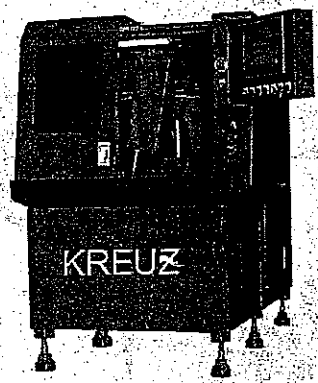
11月稼働予定の新

## ガスタービン2基受注

### MHPS 中国電力大手向け

三菱日立パワーシステムズ(MHPS)は、中国の電力大手で、ある華能国際電力股份有限公司が新設する熱電併給ガスタービン・コンバインドサイクル(GTCC)発電設備向けに最新鋭「M70

## クロイツ 横型バリ取り機開発 加工速度向上ギア量産に対応



新型の歯車バリ取り機「RB-R-D5S H100」

【名古屋】クロイツ(愛知県刈谷市、坪根 車(ギア)の量産に対応する横型バリ取り機

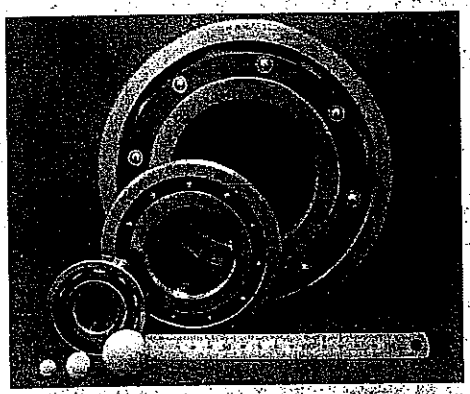
「RB-R-D5S H100」を開発した。すでに開発済みの立型「RB-R-D5S」の主軸を水平にし、切り粉のかみ込みを減らすとともに加工速度を高めた。自動車のエンジン部品を中心に、幅広い層のギアの加工需要の取り込みを狙う。クロイツはRB-R-D5S H100を5日にイタリア・ミラノで開催する欧州国際工

「RB-R-D5S H100」は、歯作機械見本市(EMO)での公開に合わせ発売する。標準タイプで価格は700万円、消費税抜き。立型と合わせ年200万円の販売を目標とする。0.2-6のモジュール(歯の大きさを表す規格値)に対応する。標準タイプは直径100mmまでのワーク(加工対象物)を加工できるが、より大きなワークに対応する機

## 幅広い温度帯域対応

日本精工は液化天然ガス(LNG)ポンプ用の高機能セラミックス玉軸受「スペースクライオ」を開発した。幅広い温度帯域で安定稼働できるため、液体窒素から液化ブタンまでさまざまなガスに対応可能。ポンプメーカへの寄与する。2018年に10億円の販売を目標とする。

## LNGポンプ向け



外輪のステルス鋼との熱膨張率が近いため、温度変化によるガタつきや発生する歪みを抑えらる。外径を標準より小さくし、摩擦を低減している。スペースクライオは、

## 日本精工、高機能セラ玉軸受開発

転動体である玉に用いる新セラミックス材を比べて内径を小さくし、外輪のステルス鋼との熱膨張率が近いため、温度変化によるガタつきや発生する歪みを抑えらる。外径を標準より小さくし、摩擦を低減している。スペースクライオは、

械も製造可能。ギアのバリを高速で取り除くために編み出した「スクレイピン」という技術を採用。今回は主軸の回転数を上げて、立型の2倍となる1秒間に約100歯のバリを除去できるようにした。また、ワークのピッチを上げて、立型の2倍となる1秒間に約100歯のバリを除去できるようにした。また、ワークのピッチを上げて、段取り数を減らすだけで、自動的に加工位置を定める機能を新たにう。